

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0001号 橋本鉄鋼(株)	身近にある事から取り組んでいこうとは思いますが、やはり多々難しいこともあるようです。 鉄を切断する機械等には粉塵フィルターを装備してあるものを使用しています。 まずは社員一人一人の意識の向上を大切にすることが一番だと考えています。
第19-0003号 (株)ワイ・ケー電子	昨年度は、省エネやリサイクルを全員で共有し、大幅削減とはいきませんでしたが削減する事は出来ました。 今後も環境負荷低減活動を継続し、小幅削減でも諦めずに社員一丸となり地道に取り組んでまいります。
第19-0007号 （株）加藤工務店	昨年度に引き続き、事務所及び建築現場から出るごみの分別、低減化に努めました。国の省エネ住宅推進の補助金事業もあることから、お客様へエコ住宅設備を設置する新築工事・リフォーム工事をお勧めしました。 今後も環境に配慮した活動を続けてまいります。
第19-0008号 （株）ラテン大和	前年度に比べると売上回復しつつあり、生産量も増えました。それに伴い光熱費も増。 その中でどれだけ各使用量を減らしていけるかを課題に取り組みました。 遠方への出張も増えましたが、自動車移動を出来るだけ減らし、可能な限り公共交通機関の利用に切替えました。 社内の緑化に関しては、緑地はこれ以上増やせない為(スペースの問題)、ハーブ等定期的に種類変更して植えています。
第20-0002号 （株）メイコー	昨年度は、工場の管理指標となる数値の大幅な見直しもあり、原単位による目標管理設定が非常に厳しい年となりました。 また受注減少による生産量の低下等の影響を大きく受けまして、廃棄物や資源の運用効率が低下する傾向となりました。 生産量減少期間中に、より良い生産環境を目指すため、積極的な工場内5s活動に取り組んでおりました。その影響もありまして、廃棄物に関しましては見かけ数値上、生産量に対し廃棄物が増加傾向に見える結果となりました。 用水使用量に関しましても同様に、フル生産を実施せずとも生産ラインのメンテナンスは定期的実施する為、増加となりました。 今年度は、生産量の増加と共に運用をより効率化し、昨年度未達となりました目標達成を目指すよう取り組んで参ります。
第20-0004号 （株）ネエチア	コピー用紙などの印刷に使用する用紙は再生紙利用だが、カタログ等は再生紙ではない為、今後検討したい。 低公害車の導入はリース時に順次入替を実施している為、今後も継続していきます。 取り組んだ内容は少なかったかもしれませんが、出来ることから取り組むよう心掛けています。
第20-0005号 （有）青柳商店	取り組み内容は少ないかもしれませんが、できることを取り組み、今後も環境に配慮していきたいと考えております。
第20-0006号 （株）山勝	当社は現在『働き方改革』を推進しており、業務の見直しを通して時間外労働の削減とエネルギー消費の削減に取り組んでいる。特に当社においてエネルギー消費の大部分を占める工場重機とトラックの稼働体制の見直し推進により一定の成果を得られたと考えている。

<p>第20-0008号 ㈱タズミ</p>	<p>令和5年度も継続して、焼却ごみの中から燃料化を推進し、事業者、自治体より発生する産業廃棄物、一般廃棄物について再生燃料化を推進致しました。結果、13,109トンの廃棄物を再生固形燃料として販売し利用していただくことができました。</p> <p>また重油換算では9,163 kℓの化石燃料の削減につながりました。令和5年度では社用車に新たに電気自動車を追加した以外に、本社で使用している重機のユンボも老朽化のため、新しい物を導入し、環境負荷にやさしい設備に切り替えを行いました。</p> <p>本年も引き続き持続可能な社会実現に向け、廃棄物の再資源化を推進し、地球温暖化対策を積極的に実行致します。</p>
<p>第21-0001号 株式会社KYOEI</p>	<p>スタッフ全員ができる取り組みとして、引き続き下記の取り組みを継続して実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印刷よりコピーの方が高いため、コピーを抑制</li> <li>・継続している手差しの再利用、再々利用もスタッフに定着してきたと感じた。</li> <li>・梱包資材は再利用をすることも大切ですが、段ボールや緩衝材などは一定の量を保つよう心掛けることで整理整頓ができた</li> <li>・電気使用量はデマンド値を意識し、値が高くなった場合はエアコンの設定温度を上げ下げすることで、来年の電気料金に影響するデマンド値を調整。結果電気料金の抑制につながった。</li> </ul> <p>引き続き取り組みを実施しますが、小さくてもできる事を継続していくことが大切だと実感しています。</p>
<p>第22-0001号 ㈱紺野企業</p>	<p>会社全体で一人ひとりが意識して取り組むことができました。</p> <p>今後更なる環境の改善に努めて参ります。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業㈱</p>	<p>昨年に引き続き、焼却灰は燃え残りや湿った灰をゴミと混ぜて再度焼却する事で軽量化し発生量を削減。</p> <p>また分別に対しても監視強化して毎月の状況を報告しております。</p> <p>トラブルでの廃棄製品発生量も少なく、上記の焼却灰を含めても資源化率は99%超えで更に向上しております。</p> <p>また今期は製造量が増加した影響（昨年対比101.6%）もあり、電気、都市ガス、水の使用量が微増という結果になってしまいました。</p>
<p>第22-0003号 ㈱川崎製作所</p>	<p>社内の環境に対する意識の向上、コスト削減にも貢献できており、継続して努力していく。</p>
<p>第24-0001号 トピー工業㈱綾瀬製造所</p>	<p>環境月間に環境朝礼を行うなど、社員全員が環境意識を持って取り組むことができました。取組目標の他に、できることから取り組むよう定期的に工場・事業所毎のチームで会議を開催しております。今後も継続して、社員全員の環境意識の向上とさらなる環境負荷低減・環境の向上に努めてまいります。</p>
<p>第24-0005号 ㈱中電社</p>	<p>『資源循環・有効利用』を重点課題として取り組み、7年間継続しています。</p> <p>廃棄物の排出抑制とリサイクルを主に、建設現場で発生した廃棄物の資源化率向上を推進してきました。</p> <p>環境負荷の低減に向けた取組は、昨年の数値と変わりませんでしたが、今後も環境負荷の低減に向けた日々の努力を継続してまいります。</p>
<p>第24-0006号 ㈱かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して紙の購入枚数と電気の使用量の削減を目標とした。</p> <p>そして紙の購入枚数、電気使用量ともに削減することができた。</p>

<p>第25-0002号 秋本食品㈱</p>	<p>① かながわSDGs パートナー参画企業です。  ② 2022年に自家消費型太陽光発電システムを導入し、使用電力量の約2割を再生可能エネルギーに置き換えています。  ③ 再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量によるCO2等の吸収量を「クレジット」として国が認証するJクレジット制度に2023年10月に参画しました。  ④ SDGs活動として、「かながわプラゴミゼロ宣言」、「かながわ脱炭素チャレンジ中小企業認証制度」に参画を検討中です。</p>
<p>第26-0001号 エムケーチーズ株式会社</p>	<p>全従業員の環境意識高揚と環境取組の活性化を目標として取り組んでいます。  省エネ活動としては未使用箇所の節電や漏れ箇所への対応、ムダ使いについて少しずつ浸透してきたと感じています。  産業廃棄物については廃棄物保管場所へ捨てる人それぞれの意識が高まり、適正に分別出来てきたと感じています。今後も3R推進と省エネ活動を進捗していきます。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工㈱</p>	<p>取組結果は数値化し、継続していくことで、前年比など具体的な成果の可視化を取り入れていきたいと考えます。  今後は、地球温暖化防止対策について、関連する取り組みを強化していきたいと思えます。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル㈱相模事業所</p>	<p>昨年度はLPガス使用量が未達であったが、今年度2023年度は両方の取組とも目標を達成することができた。</p>
<p>第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めている。令和5年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO<sub>2</sub>排出量の削減に努めているが、エネルギー原単位は約2.4%増加し、電気使用量も気温上昇に伴う空調負荷増により、1.7%増加しました。引き続き省エネ施策による削減を行うが、人の増員や機器の増加により使用量等が増加する見込みである。  空調換気システムの改善、太陽光発電等を活用して省エネ対策に取り組んでいく。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学㈱</p>	<p>従来より、取り組んできた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ㈱相模工場</p>	<p>社員全員が常に環境意識及び5Sを持って取り組むことができました。  コロナ禍においても昨年末からホテルの稼働が高くなったままで忙しくなりましたが取り組めました。  コロナ過で従業員が減り、タイミー等バイト多用により生産性が低下し、電気、ガス使用量が増えてしまった。  今後は環境負荷低減、環境の向上に努めていきます。</p>
<p>第33-0001号 ㈱藤井工務店</p>	<p>令和3年9月に登録を行い環境負担を低減させるための取組を実施している。少しずつだが結果は出している。  社員の環境への意識も少しずつ変わってきている。</p>

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第19-0001号 橋本鉄鋼㈱	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレット ペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率80%
	大気汚染、水質汚濁等 の防止、化学物質対策 等	大気汚染物質排出量を削減 する。	大気汚染物質について法令によ る基準より厳しい自主管理基準 や設備を導入する。	粉塵フィルターは切断機械に設置 されている物を使用している。定期 的なメンテナンスも行ってま
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を削減する。	ペーパーレスを意識して、メール 等のデータのやり取りや裏紙使用 を進める。紙使用量が減少した。
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレット ペーパー等に再生紙を使用する。	再生紙の使用率：100%
第19-0007号 ㈱加藤工務店	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	電気使用における削減量 昨年度 より2000kw
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイ クル化を促進する。	紙・プラスチック、トナーカー トリッジ、電池等について、分 別回収ボックスを適正に配置す る等、ごみの分別とリサイクル を進める。	ペーパーレスを意識して、メール 等のデータのやり取りや裏紙使用 を進める。紙使用量が減少した。
第19-0008号 ㈱ラテン大和	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を推進する	コピー用紙や印刷物、トイレット ペーパー等に再生紙を使用す る。	再生紙の使用率：
	建築物の建築・解体、 開発事業に当たっての 環境配慮	木材、コンクリート塊、汚 泥、残土等の建設副産物の 削減、再利用、分別、リサイ クルに取り組む。	木材、コンクリート塊、汚泥、 残土等の建設副産物の削減、再 利用、分別、リサイクルに取 り組む。	
第19-0008号 ㈱ラテン大和	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数 昨年度 比：15,000枚減(可能なものをクラ ウド上で保存)。使用した紙の裏面 を使用。
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組 を実施する。	紙の再利用、電池回収BOXを 設置&充電式電池の使用で、リ サイクルを進める。	事業系廃棄物の資源化率：40%
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を促進する。	コピー用紙や印刷物、トイレット ペーパー等に再生紙を使用す る。	再生紙の使用率：100%
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	その他環境に配慮した物品 等の購入、使用を推進す る。	エコマーク商品等、環境負荷の 少ない製品を優先的に購入す る。	物品購入におけるエコマーク等商 品の購入率：60%(製品によっては 質が合わず効率的ではない)
	輸送に伴う環境負荷の 低減	自動車の購入・選択に当 たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃料 基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：50%
	輸送に伴う環境負荷の 低減	自動車の使用に当たって環 境へ配慮する。	アイドリング・ストップ等、エ コドライブを実施する。	エコドライブの実施率：100%
	省資源等	節水等を行い環境に配慮す る。	水の使用量を把握し、削減す る。	水使用における削減量(昨年度 比)：80%(ほぼ同量の使用。僅か 緑地面積：2㎡)
	建築物の建築・解体、 開発事業に当たっての 環境配慮	環境整備と周辺の自然環境 の保全に配慮する。	敷地内、壁面、屋上等の緑化を 実施する。	
	大気汚染、水質汚濁等 の防止、化学物質対策 等	悪臭、騒音、振動等の防止 対策を講じる。	悪臭、騒音、振動等の対策を行 う。	工場内外の側溝排水溝を隔週の清 掃実施。 製造量が多い週、夏期は回数を増 やしている。 浄化槽の定期点検・清掃の実施 (業者による)
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	電気使用における削減量 昨年度 比：70kw増
地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転す る。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	LPGガス使用における削減量 昨 年度比：50L増	
地球温暖化防止対策等	冷暖房設備等を適正管理す る。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	灯油使用における削減量 昨年度 比：200L減	
地球温暖化防止対策等	給湯設備を適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	ガソリン使用における削減量 昨 年度比：200L増	
第20-0002号 ㈱メイコー	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイ クル化を促進する。	プラスチック類等の選別精度を 向上し、原料としてリサイクル 可能な品目を拡大することで廃 棄物の削減を進める	廃プラの排出量削減率 前年度比：+35.8% (原単位比)
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	生産工程におけるリサイク ルに取り組む。	生産工程で発生する廃棄物のリ サイクルを推進する	資源化率：100%
第20-0004号 ㈱ネエチア	省資源等	節水等を行い環境に配慮す る。	工場内用水使用量を把握するこ とで、使用量を適正化する。	全用水使用量削減率 前年度比：+7.1% (原単位)
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレット ペーパー等に再生紙を利用す る。	再生紙の使用率：65%
第20-0005号 ㈱青柳商店	輸送に伴う環境負荷の 低減	自動車の購入・選択に当 たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃料 基準達成車への代替を進める。	低公害車の導入：3台
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の購入枚数を削減する。	紙の購入枚数を削減する。	昨年度比500枚の削減。 裏紙を積極的に活用。 事業系廃棄物の資源化率：80%
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組 を実施する。	紙、プラスチック、トナーカー トリッジ、電池等について、分 別回収ボックスを適正に配置す る等、ごみの分別とリサイクル を進める。	
第20-0006号 ㈱山勝	地球温暖化防止対策等	ボイラーを適正利用する。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	軽油使用における削減量 昨年度比：299L減
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	ペーパーレス化の推進	今まで取り組んできた印刷数量削 減は一定レベルに達したため、今 後は紙の消費自体を減らす取り 組みに着手。具体的な成果はこれか らだが、社内業務の10%以上は ペーパーレス化できると見込んでい
第20-0006号 ㈱山勝	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気使用量の削減	工場クレーン及びシャーリングの 稼働体制(人員体制を含めて)の 見直しと柔軟化により、対前年比 10.5%の使用料削減を実現した。
	地球温暖化防止対策等	自動車の適正使用及び抑 制、又は低公害化する。	軽油・ガソリン等の燃料費削減	取引先様のご協力を得ながら日々 の配車計画見直しにより対前年比 13%の削減を実現した。 運転職の時間外労働時間も10% 以上削減された。
第20-0006号 ㈱山勝	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を抑制する。	お客様から依頼のあった契約書も 電子化の要望があれば相手のシス テムに対応して電子化していま
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を推進する。	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙は再生紙を使用してい る。

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第20-0008号 備タズミ	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	その他環境に配慮した物品 等の購入、使用を推進す る。	そのほか、環境に配慮した物品 等の購入、使用を推進する。	グリーン購入率 54.6%
	輸送に伴う環境負荷の 低減	自動車の購入・選択に当 たって環境に配慮する。	自動車の購入・選択にあたって 環境に配慮する。	営業車で日産電気自動車：リーフ トヨタ燃料電池車：ミライを運用
	輸送に伴う環境負荷の 低減	自動車の購入・選択にあたって環 境へ配慮する。	自動車の購入・選択にあたって環 境に配慮する。	社用車に電気自動車 BYD 製の車 両を追加した。 その他電気自動車リーフ、水素自 動車ミライを運用している。
第21-0001号 備KYOEI	建築物の建築・解体、 開発事業に当たっての 環境配慮	環境整備と周辺の自然環境 の保全に配慮する。	環境整備と周辺の自然環境の保 全に配慮する。	本社工場崖側の土地を購入し、そ の土地に桜の木の苗を植樹しまし た。
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量・購入数を削減す る。 カラー印刷の抑制。	使用量昨年比較 △1,786 カウント 昨年同様の取り組みの他に、コ ピーの抑制に取り組み始め、支払 額の削減にもつながった。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気使用量を把握し削減する。	昨年同様の取り組みを実施 使用量昨年比較 △30%減
第22-0001号 備紺野企業	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用量を抑制する。	シュレッダーにかいた紙を緩衝 材にして再利用し、ゴミを削減。 届いた物使用されていた梱包資材 は再利用し購入の抑制とゴミを削 3%の削減
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイ クル化を促進する。	オフィス等におけるリサイク ル化を促進する。	事業系廃棄物の資源化率：100%
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	節電、事務・工場にて不要な電 気使用を控える。	8%削減
	輸送に伴う環境負荷の 低減	自動車の使用に当たって環 境へ配慮する。	アイドリングストップ等エコド ライブを実践する。	みまもりくんの導入により改善
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改 修する。	環境マネジメントシステムを導 入する。	エコアクション21
第22-0002号 横浜乳業備	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組 を実施する。	埋立行産業廃棄物（焼却灰）の 発生抑制。	埋立行産業廃棄物発生量 10kg削 減 (22年度発生量220kg⇒23年度発生 量210kg)
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理 省資源等	オフィス等におけるリサイ クル化を促進する。	製造工程で発生するゴミのリサ イクル化。	事業系廃棄物の資源化率99.1% (22年度資源化率97.1%)
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	機器更新等、省エネ活動による 電気使用量の削減。	水使用量 25,743m <sup>3</sup> 増加 (22年度使用量1,055,398m <sup>3</sup> ⇒ 23年度使用量1,081,141m <sup>3</sup> ) 昨年度比102.4%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	ボイラー設備の更新、運転制御 見直し。	電力使用量 38,695kWh増加 ※発電量含む (22年度使用量19,289,369kWh⇒ 23年度使用量19,328,064kWh) 昨年度比100.2%
第22-0003号 備川崎製作所	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気・ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	電気使用量 161,606kw ガソリン 1,173ℓ 軽油 38.8ℓ 削減した。
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	生産工程におけるリサイク ルに取り組む。	生産過程で発生するゴミ（スク ラップ）のリサイクルを推進す る。	金属スクラップの分別徹底を行い 資源の有効活用。
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改 修する。	環境マネジメントシステムを導 入、維持	エコアクション21の継続 (R6.5更新済)
第24-0001号 トビー工業備綾瀬製造所	省資源等	節水等を行い環境に配慮す る。	自動販売機を電力量抑制が可能 な新しい機体へ入替（6台）を実 施。	消費電力を年間1,095kw削減
	大気汚染、水質汚濁等 の防止・化学物質対策 輸送に伴う環境負荷の 低減	大気汚染物質排出量を削減 する。 自動車の使用に当たって環 境へ配慮する。	大気汚染について、法令による 基準より厳しい自主管理基準や 自動車の使用にあたって、環境 へ配慮する。	毎月の環境委員会で環境評価を実 施 製造所内での駐車場ではアイド リング禁止を徹底。
第24-0005号 備中電社	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	使用済み用紙の裏面をメモ用紙 として再利用している。PCによ るFAX受信、見積・請求書等の ペーパーレス化で紙の購入枚数 を削減している。	紙購入における削減枚数（昨年度 比） A4サイズ：500枚
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	生産工程におけるリサイク ルに取り組む。	生産過程で発生する事業系廃 棄物のリサイクルを推進する。	廃棄物の資源化：90%
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙やトイレットペー パー等に再生紙を使用してい る。	再生紙の使用率：100%
	環境への負荷の少ない 原材料、製品、サービ スの利用	その他環境に配慮した物品 等の購入、使用を推進す る。	エコマーク商品等、環境負荷の 少ない製品を優先的に購入す る。	商品購入率：80%
第24-0006号 備かなしんオフセット	建築物の建築・解体、 開発事業に当たっての 環境配慮	環境負荷の少ない建築材の 使用等を推進する。	木材、コンクリート塊のリサイ クルに取り組む。	建設副産物の資源化：100%
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の購入枚数を削減する。	紙購入における削減枚数（昨年度 比）：2,500枚
第25-0002号 秋本食品備	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使 用量を把握し、削減する。	電気使用における増加量（昨年度 比）：10,900kw
	廃棄物の排出抑制、リ サイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組 を実施する。	生ゴミ処理機（溶解機・圧搾 機）を活用し動植物性残渣（ 野菜くず）の排出量を削減。	動植物性残渣排出量 2022年度 608,599kg 2023年度 236,820kg
	製品の開発・設計等 における環境配慮	製品（プライベートブラン ド商品を含む）設計に当 たって環境に配慮する。	容器に使用するプラスチック素 材の削減 ①巾着袋→四方化袋に変更 ②留リング（プラスチック素 材）の廃止	かながわプラゴミゼロ 宣言に参画検討中
	環境保全型商品等の販 売、消費者に対する情 報提供を行う。	環境に配慮した製品を表示 し、販売する。	包装資材メーカーが、包装容器 の製造時に 使用するインキを、バイオマス インキに切り替え、二酸化炭素 排出量を削減する。	従来のインキより二酸化炭素の排 出量を 約15%削減。
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改 修する。	自家消費型太陽光発電システム の稼働。	2023年度実績発電量 573,552kwh 二酸化炭素排出量削減量 262t
地球温暖化防止対策等	自然エネルギーを活用又は 新システム等を導入する。	自家消費型太陽光発電システム の活用。	再生可能エネルギーの利用による CO2等の排出削減量によるCO2等 の吸収量を「クレジット」として 国が認証するJクレジット制度に 参画しました。 登録日：2023年10月19日	

登録番号 事業所名	種別内容	目標内容	取組内容	取組結果
第26-0001号 エムケーチーズ㈱	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	廃棄物の発生抑制の取組を進捗する。 分別の徹底をする（教育）	ISO環境教育にて廃棄物教育実施 産業廃棄物排出量：対前年比 69.8%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	廃棄物の発生抑制の取組を進捗する。 分別の徹底をする（教育）	ISO環境活動にて実行計画表に沿って活動 食品廃棄物発生量：対前年比
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気の使用量を把握し削減する。 漏れ箇所修理を徹底する。	ISO環境活動にて省エネ教育実施 設備更新、省エネ活動実施 電力使用量：対前年比96.9%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	ガスの使用量を把握し削減する。 漏れ箇所修理を徹底する。	ISO環境活動にて省エネ教育実施 設備更新、漏れ箇所修理の徹底 ボイラー都市ガス使用量 ：対前年比96.4%
第26-0004号 大平食品加工㈱	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	紙の使用量を抑制する。	紙の使用枚数削減の為、裏紙印刷を導入。	メール専用P C 及び社内R U N P C に裏紙印刷が出来るように接続 ⇒ 前年対比5.88 % 購入経費削減（ ¥7,250-） 予算の都合で見送り。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	照明設備のLED化	
第26-0006号 明電ケミカル㈱相模事業所	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	廃棄物の発生を抑える取組を実施する。	排出排出量を削減する。	目標を達成できた。 廃プラ-7.43kg、廃油-540kg
	地球温暖化防止対策等	エレベーターを適正運転する。	L P ガス使用量を削減する。	目標達成できた。 -856㎡
第26-0008号 東ソー㈱東京研究センター	地球温暖化防止対策等	省エネ対応製品等を購入又は更新する。	省エネ対応製品を購入、更新。	LED照明化（331台） 省エネ型空調設備への更新（36）
	地球温暖化防止対策等	特定フロンを削減又は温室効果ガスを排出抑制する。	業務用機器の冷媒を適正に管理する	回収したフロン（60件、172.2kg）
第26-0009号 日本蛍光化学㈱	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	よくできた。
	省資源等	節水等を行い環境に配慮する。	水の使用量を把握し、削減する。	よくできた。
	建築物の建築・解体、開発事業に当たったための環境配慮	建築物、構築物の環境への影響を予防するための方策を講じる。	老朽化に関する診断、長寿命化を行う。	大変よくできた。
第26-0010号 東急リネンサプライ㈱相模工場	環境への負荷の少ない原材料、製品、サービスの利用	再生紙の使用を推進する。	コピー用紙や印刷物、トイレットペーパー等に再生紙を使用する。	コピー用紙の再生紙使用率45%。 トイレットペーパー再生紙使用率100%。
	地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kg当たり使用電力量（昨年度比）：+2.9%
	地球温暖化防止対策等	事務機器を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	生産1kg当たり使用都市ガス量（昨年度比）：+2.4%
	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する	太陽光発電設備を活用する。	発電出力：38.5kw
第33-0001号 ㈱藤井工務店	地球温暖化防止対策等	省エネ設備等を採用又は改修する。	太陽光発電設備を活用する。	お客様へ再生可能エネルギーなどの設備提案を行い太陽光発電設備を推奨している。
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	オフィス等におけるリサイクルを促進する。	分別回収ボックスを配置しゴミの分別とリサイクルを進める。	資源化率70%
	輸送に伴う環境負荷の低減	自動車の購入・選択に当たって環境に配慮する。	クリーンエネルギーカーや燃費基準達成車への代替を進める。	社用車7台をクリーンエネルギーカーなど環境負担の少ない車への代替を行った。
地球温暖化防止対策等	照明設備を適正管理する。	電気、ガス及びガソリン等の使用量を把握し、削減する。	CO <sub>2</sub> ：排出削減 50%～60%（メーカー算出）	